

新たな所管事務

7 保育園視察

実態調査を要請

委員会で7保育園を視察した中で児童虐待の早期発見と対応状況、臨床心理士の活用状況、回復期の病後児保育の状況、給食の調理員の配置状況等について意見と疑問点が出された。

園児の多い少ない園があるのに、調理員が2人で安心・安全な給食が提供できるのかなど過去のことや周辺自治体の

移管先募集において、応募文書223の社会福祉法人、町内届け出保育園4園に郵送しHP掲載。応募された5法人を民営化選考委員会で総合的に評価し、篠栗町の社会福祉法人勢門福祉会に決定。

実態調査を要請した。

志免保育園民営化

決まる

委員会報告 (調査・研究) 町の重要な課題

(太字は委員会の要望、要請)



▲特定保育のようす(町立志免南保育園)

耐震補強工事

2年で済

中央小学校の耐震化工事の一部で、耐震補強工事の錆がひどい状態になっていると委員から指摘。委員会で現地視察を行い、瑕疵担保期間が切れていても、業者の責任において手直しを行なうよう強く要請した。

地域コミュニティの課題

新たに担当となった地域交流課より地域コミュニティのあり方について説明を受けた。合併等大きな要因があれば必要性は生じるが、今の段階で問題点はなく新たに取り組むべきかとの疑問点も出てきているとのことであるが、町としての方向性が確立しているのか、町長に委員会への出席を要請した。

町内全域水路調査

内水対策は町内全域の水路調査を行い、それをもとに水路の改修箇所を全部ピックアップし、改修工事を行う。現在東公園台、須川南里水路の竣設工事が終了。23年度の工事は日枝橋横に逆流防止弁と水門を設置する予定。

委員会で視察

平成23年1月に開所した松ヶ丘コミュニティの部屋(みどりの家)を8月31日視察。意見交換会を行いました。



厚生建設常任委員会



▲国保特定健診会場

予防に力を入れ医療費の削減を

わかりやすい

情報提供

国保特定健診は予防に力を入れる74歳までの事業です。受診率を高め効果を上げることが、75歳以上の後期高齢者の医療費の削減につながる。防災無線、広報車での巡回、電話での対応などで申し込みは300人と

多くはなっているが、わかりやすく情報の提供を行うよう提言している。

積極的な支援を

障がい者就労支援については、平成22年度就労支援ネットワーク強化充実事業に基づく視察について報告を受けた。志免町からは2人参加。今後

積極的な支援に努めて欲しい。

見通しの甘さを

指摘

別府北3丁目地内の配水管布設替え工事の発注について、下水管布設時に同時に工事をすべきであり、見通しの甘さを指摘している。

上水道事業の進捗は、桜丘低区系基幹管布設など7月末で5%。

水洗率の向上を

下水道長寿命化計画の資料とするため、下水道管の中をテレビカメラで調べる調査を業務委託。下水道の普及率は高くなってきているが、今後水洗化率を上げることが課題と指摘した。

議会運営委員会

会議要綱作成

志免町議会基本条例に基づき、議会報告会、一般会議の開催に向けて、その実施要綱を作成した。要綱案は9月定例議会中に全員協議会で提案する。

9月定例会は、2日より22日の21日間。一般質問は9人。決算特別委員会の設置、町政報告への質疑の在り方、広域連合議会への要望について協議を行った。 ※政策提案の拡大を図るために、町民・各種団体などと多様な意見交換の場を設けるものです。

福岡都市圏広域行政調査特別委員会

現在志免、宇美、須恵3町の合同会議は行われていない。そこで宇美町議会議長に委員会の立ち上げの要請を行った。3町で調査研究する課題も多いため、立ち上げる方向で検討するとの回答を得た。今後須恵町とも協議し、3町の課題は何か、問題点を明らかにして会議に臨んでいく。

志免炭鉱ぼた山対策特別委員会

志免、須恵、粕屋3町で構成するぼた山開発に向けて、各町の審議を経て、プロジェクトチームの設置が提案された。

その結果、チーム構成を3町各議会の委員会より2名の議員を選出し、設立することを協議会総会で決定した。

各町9月末までに構成員の報告を行うこととなった。

議会広報特別委員会

新しいメンバー構成でこれまでの紙面構成維持、重要な議案に対する表決の氏名公表は継続。議会報告会において、議会だよりを資料とされることから、議会だよりづくりは重要。

8月22日、熊本県益城町議会広報編集特別委員会が視察研修に見えられ、とても読みやすいと評価を受けた。